

“カンボジアに文房具を贈ろうキャンペーン” 報告写真

古田中学校生徒会



祇園中、庚午中、高陽中、口田中の4校からたくさんの文房具が届きました。協力して下さる学校があるかどうか不安に思っていたので、とても心強く思いました。鉛筆だけでも4千本近く集まりました。



連日、執行部や代議員でいただいた文房具を整理して、NGO団体に持っていきました。カンボジアのためにと始めたことでしたが、日本がいかにもものにあふれているかを実感することにもなりました。



直接カンボジアまで持っていくことが決まり、メッセージを添えて渡せるように、有志生徒が集まって寄せ書きをしました。



日本からカンボジアまでは航空機で6, 7時間。途中タイのバンコクで乗り換えて首都プノンペンに行きました。

この写真はプノンペンから車で3時間半のコンボンチャム中学校に行った時のもので、文房具とその目録を贈っているところです。物資の不足する地域で、大変喜んでいただきました。



コンボンチャム中学校の生徒はみんなでわたしたちを迎えてくれました。校舎は雨漏りがするということでしたが、みんなはとても明るく楽しそうでした。



コンボンチャムはプノンペン郊外にあり、一軒一軒の家は高床式でバナナの木の中に建っていました。



プノンペン市街地にあるシントウムック中学校に行きました。ここでも、ノートなどの文房具を寄贈しました。



シントウムック中学校では日本の紹介もしました。みんなとても熱心に聞いてくれ、英語で少しだけ話も通じました。教科書はなくみんなホワイトボードに書かれた先生の字をノートに写して勉強するそうです。



シントウムック中学校は都会にあり、街の様子もコンポンチャムとは違い、道にはバイクがあふれていました。

庚午中、祇園中、口田中、高陽中の生徒会のみなさん、ご協力ありがとうございました。